



今年7月、開園70周年を迎えた米カリフォルニアのディズニーランド。多くの来園者でにぎわい、晴れの佳節を祝った ©Handout/Getty Images

HEROES ヒーローズ

ディズニーを通して語る池田先生

思いもかけない試練があるからこそ、人間は成長できる。どんな困難も、「よし来た。／」ととらえ、強き心で挑戦していけば、自分が得をする。価値ある人生を築くことができる。

逆境を勝ち越えた英雄たち

私は偶然を否定する。誰だって自分の才能を見つけて出し、心から信じれば自分の運命を決めることができる。

池田先生が交流を重ねてきた各界のリーダーの一人に、三井不動産の会長などを歴任した江戸英雄氏がいる。

東京ディズニーランドの建設に尽力した江戸氏は、「ぜひお越しいただきたい」と先生の誘いを熱望。開園から4年後の1987年11月10日、先生は同園を訪れた。

この日、先生ははらと懇談。パレードの出演者の中に学芸員がいたことを聞くと、伝言を託して熱演をたてた。

同園の署名簿には「全世界の少年少女の／夢とロマン／平和の／金と城の／永遠の栄光を祈りつつ」と記されている。

翌日には礼状を送り、多くの若い社員が礼儀正しくはらとつと、自分の仕事に誇り／責任を持って働く姿を絶賛。新たな文化を創造し、未来の少年少女たちの豊かな心を育みゆく同園の限りない発展を強く願った。礼状は運営会社・オリエンタルランドの社内報に全文が掲載された。

故郷や祖国を離れて暮らす創価行動を起こすこと、新規プロダクトに乗り出すことを決める。その一つが動物のドキュメンタリー映画であり、第2弾の「あざらしの島」がアカデミー賞を獲得。『自然と冒険』シリーズをスタートさせた。

アイディアは映画だけでなくとまらなかつた。家族で楽しめる「ファミリーパーク」を計画し、カリフォルニアに「ディズニーランド」を建設。1955年7月17日、待望の開園を迎えた。

初日は乗り物が故障し、偽の招待状が出るなど数度で、批評家にも酷評されたが、彼は自ら園内に飛び入りして改良に尽くす。その結果、開園から数カ月で来園者数は100万人を突破。『ディズニーランドは決して完成しない』と語った通り、常に新しい発想で日々を夢と感動を届けた。

ディズニーは68年12月、病のため65歳でこの世を去る。彼の残したウォルト・ディズニー・ワールドの建設は兄が引き継ぎ、5年後にフロリダにオープン。83年には海外初となる東京ディズニーランドが誕生し、多くの家族連れなどでにぎわいを見せている。

学園の寮生・下宿生、創価大学の留学生が東京ディズニーランドに招待され、思い出を刻んだこともまた先生は、生涯で20作品以上の創作童話・物語を発表し、少年少女たちを物まじえてきた。それらの作品はこれまで世界の23言語で翻訳・出版され、アニメは26カ国・地域でテレビ放送された。

2005年には、子ども向け番組に貢献した人物に贈られる「東アジア子どもテレビ基金賞」(当時)の「ナナク」(子ども)・テレビ放送賞を受賞。同基金会のローゼス会長は、先生を想像を超えた世界に子どもたちを連れて行き、楽しさと喜びを与える「アジアのウォルト・ディズニー」だと称賛した。

ディズニーの人生や言葉を通して、先生が残した指針について、先生は「大いなる夢に向かって彼は突き進んだ。つねに挑戦者だった。心には『開拓精神』『プロンティアスピリット』が燃えていた。ここに、新たな時代を切り開く原動力があった」と私は思う。由緒希望はつねに前にある。栄光は前進し続けるものだから。人生とも悔いなく、最高の勝利の人生を飾ってまいりたい。(65年10月6日、東京自衛隊協会のスピーチ)

「ディズニーの言葉を贈りたい。『人生で経験したすべての逆境、トラブル、障害が、私をまっすぐにし、強くしてくれた。』

思いもかけない試練、障害があるからこそ、人間は成長できる。強敵に勝つことで、人は強くなる。どんな困難も、『よし来た』と「宿命転換のチャンスだ」ととらえ、強き心で挑戦していけば、自分が得をする。誰かに価値ある人生を築いていくことができるのである。

どうか全員が「健康」で、「勝利」の人生を歩んでいただきたい。(同年8月1日、代幹幹部研学会でのスピーチ)

来月1日からは「天来部勝利月間」が始まる。躍動の生命で、後継の友と、次なる飛翔を誓い合おう。



ウォルト・ディズニー(1901-88年)が人気キャラクターのミッキーマウスと ©TPLP/Getty Images

【引用・参考】ボブ・トマス著『ウォルト・ディズニー 夢をかなえる100の言葉』(ぴあ)、『ウォルト・ディズニーがくれた夢と勇気の言葉180』高橋康子訳(同)ほか

SECOM

信頼される安心を、社会へ。

お客様からの通報で
24時間・365日、夜中でも
セコムが駆けつけます!

ぐっと
握るだけで
セコムが駆けつけ!

救急ボタン(マイドクター)

セコムの見守り

健康が気になり出したあなたに
セコムからのご案内です。

始めませんか?

実は! 年間の救急搬送者の約6割が65歳以上

「セコムの見守り」なら、高齢になると高まる事故や病気のリスクに備えることができます。

握るだけで救急通報できるマイドクター!

救急ボタン(マイドクター)があれば、突然のケガや体調不良の時、握るだけでセコムに救急通報できます。お客様の通報を受け、24時間365日お住まいへ急行します。

ご自宅での異変を自動で検知安否みまもりサービス

廊下などの生活動線にセンサーを設置して、一定時間、動きを確認できない場合、自動でセコムに通報するサービスです。健康不安がある方、そのご家族に安心いただけます。

突然の腹痛 めまい!

※料金「令和6年度 救急・救護の視覚化推進補助金(2024)より作成

約96%の方が、安心を実感!

資料請求だけでも構いません。気になることは何でもお電話を!

0120-017-756

〈受付時間〉9:00~18:00(年末年始を除く)
詳細・個人情報取得の取扱いに関しては、HPをご覧ください。